

平成26年7月6日 特急スーパー北斗18号 1号車のデッキ付近からの白煙の発生について

1. 概 況

平成26年7月6日21時45分頃、室蘭線静狩駅～長万部駅間を走行中の札幌19時29分発函館行き特急スーパー北斗18号（7両編成）で、非常通報装置（SOSボタン）が扱われたため、運転士が緊急停止させました。車内を点検したところ、1号車後部デッキの機器室付近から白煙が発生しているのを確認し、運転士がエンジンを停止したところ煙は収まりました。なお、火災の発生はありませんでした。

万全を期すため、ご乗車のお客様については、長万部駅に0時48分に到着した臨時列車にお乗り換えいただき、特急スーパー北斗18号の代行列車として1時07分に函館に向け発車し、2時32分に函館駅に到着しました。

その後、函館運輸所で検修社員が調査したところ、当該デッキの機器室下にある床中配線の被覆の一部が焦損していることが判明しました。現在も調査を続けております。

2. 当日の編成

←函館

札幌→

(進行方向)

1号車	2号車	3号車	4号車	5号車	6号車	7号車
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

(当該車両)

キハ281-4号（新製：平成5年12月6日）

3. 原 因

1号車（キハ281-4号）の機器室床中配線の被覆の一部が焦損したため。

（詳細調査中）

4. 配線状態の確認

281系については、床中など目視での確認ができない配線も含め、車両全体の配線状態の確認は、交番検査（90日毎）要部検査（約1.5年毎）、全般検査（8年毎）で、絶縁抵抗試験（漏電がないことを確認するため、配線に電圧をかけて漏れ電流：抵抗値を測定する試験）を行っています。

当該車両の直近の交番検査は、平成26年5月22日に実施しており、異常ありませんでした。

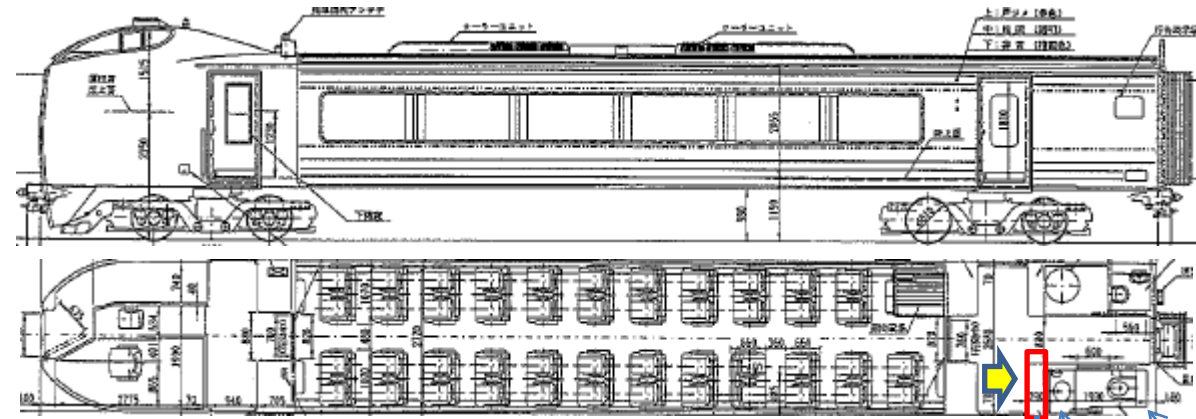
5. 緊急の取り組み

(1) スーパー北斗の出区前に下記点検を実施し、異常はありませんでした。

- ・同構造である車両の当該配線状態検査を実施しました（対象9両）。
- ・スーパー北斗全編成を対象に電気配線と車体が電氣的に接触していないかどうか検査を実施しました。

(2) 原因が判明するまでの間、以下の緊急対策を実施します。

- ・現在90日毎に行っている絶縁抵抗試験を、45日毎に短縮して実施します。



機器室 洗面所 共用トイレ



通常の状態



扉を開けた状態



ゴミ箱を外した状態
(床板の取り付け状態)

機器室



床板を取り外した状態



配線の被覆の一部に焦損あり